

理学部 化学科

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

城西大学理学部化学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、化学を通じて地域社会や国際社会の持続的な発展に貢献できる人物を育成します。本学科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価し、理学部化学科の学位授与方針に従って卒業認定を行い、学士の学位を授与します。

学修目標

1. 化学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
2. 大学での化学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
3. 化学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

城西大学理学部化学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

方略・評価

1. 人間形成の過程で必要となる学びを提供するために、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、人類文化社会へ貢献するための意識を養うという視点で全学共通カリキュラムを策定し、そのために必要な全学部共通科目を含む必修科目を学生の段階的な成長を促すように設定する。その評価は自己評価を基本とし、長期型ルーブリック*を用いた評価をポートフォリオ*に蓄積して学生自身による振り返りを促すとともに、教員による学びの促進を意図した形式的評価を随時実施する。

*長期型ルーブリック：ルーブリックは、学習目標の達成段階を質として表した表で、長期型ルーブリックは、入学から卒業までの成長を継続的に評価するのに有効なツールです。

*ポートフォリオ：学習成果物を時系列に沿って蓄積していったファイルで、学生の段階的な成長を確認するために有効なツールです。

2. “協創”による社会問題の解決に取り組むために、全学部の学生が協力して課題解決を創造する学内外連携授業を必修科目として各学年に設定する。その評価には、教員による評価だけでなく、ルーブリックを用いた自己評価・ピア評価など多様な視点を取り入れ、学習の成果物はポートフォリオに蓄積して、自身の振り返りを促す。英語力については、大学共通基本科目において、習熟度別のクラス編成を実施して、個人のレベルに合った学習を可能にする。

3. 最先端化学に対応するための基礎教養および専門性を獲得するという視点で、「物質・情報科学」「合成化学」「生命化学」「一般科学」などの4つのコアプログラムを策定し、人間形成につながる学問の基礎を培う。その評価方法には、学生の学習活動の改善を目的とした形成的評価を取り入れ、学期末に記述式試験を実施するだけで合否判定をするのではなく、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、合否判定を伴う総括的評価を実施する。その成果についてはGPAを用いて学生に対してフィードバックを行う。

また、化学の学びで得た知識・技能を他者への教育という観点から地域社会等へ貢献することを希望する者のために、教員養成を目的とした教育の基礎的理解に関する科目と教科及び教育の指導法に関する科目を設定する。その評価は教員養成に重要なアクティブラーニングを取り入れた形成的評価によって行う。さらに、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、合否判定を伴う総括的評価を実施する。また、「履修カルテ」において自己評価を行い、ポートフォリオとして活用する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

城西大学理学部化学科は、自身の発見や自身を大きく成長させるために必要な学びを提供し、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、社会貢献への意識を養う教育を行います。そのため以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

求める人物像

1. 多様な事象に興味を持ち、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって学ぶ意思を有する人
2. 他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組む意思を有する人
3. 学科の特徴を理解した上で、化学およびその関連学問分野に興味があり、専門知識・技能を高める意欲を持ち、そのために必要な基礎学力と専門教育に関する教科・科目の学習に取り組んでいる人
高校での履修が望ましい教科・科目：英語、国語、数学、理科（化学、物理、生物）

理学部化学科のアドミッション・ポリシーに基づき、多様な形態の入学試験によって、学力の三要素、すなわち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」などの資質・能力を評価し、本学部学科の教育目的に相応しい人材を選抜します。

学校推薦型選抜

本学が定める推薦基準を満たし、高等学校長から推薦される人を対象に、書類審査（出願書類）、面接により、資質・能力を評価・審査します。

総合型選抜

書類審査（出願書類）、面接、プレゼンテーションにより、資質・能力を総合的に評価・審査します。

卒業生子弟・子女入学試験（総合型選抜）

書類審査（出願書類）、面接、プレゼンテーションにより、資質・能力を総合的に評価・審査します。

一般選抜

本学独自の学力検査と書類審査（B、C日程のみ）により、知識・能力を評価・審査します。学力検査では、本学部学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストにより、知識・能力を評価・審査します。本学独自の学力検査は行いません。大学入学共通テストの結果により、本学部学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

編入学試験

多様な入学経路を確保し、優秀な人材を受け入れるための制度です。他大学、短期大学または高等専門学校を卒業した人（学士入学・編入学試験）、他大学に在籍中の人（転入学試験）を対象とします。書類審査（出願書類）、本学部学科独自の学力検査、面接・口頭試問により、資質・能力を評価・審査します。

外国人留学生入学試験

外国人留学生を対象とし、国際的に活躍しうる有為な人材を募ることを目的とした入試制度です。書類審査（出願書類）、本学部学科独自の学力検査または日本留学試験、面接・口頭試問により資質・能力を評価・審査します。

（2024年4月入学者用）